

水・緑と観光を繋ぐ回廊計画の進捗状況 と変更点についての報告書



平成30年3月
瑞穂町 企画部 企画課

【目 次】

| | |
|-------------------------------|----|
| 1. はじめに | 1 |
| 2. 水・緑と観光を繋ぐ回廊計画の基本的な考え | 2 |
| 3. 計画の進捗状況 | 3 |
| (1)平成24～28年度主な取組み | 3 |
| (2)これまでの事業経費 | 4 |
| (3)計画の各種整備状況 | 5 |
| 4. 概算整備事業費 | 7 |
| 5. 各部会の事業展開 | 9 |
| (1)回廊ルート整備部会 | 9 |
| (2)観光部会 | 12 |
| (3)狭山池上流部整備部会 | 14 |
| 6. モニュメント設置 | 15 |
| 7. 計画期間 | 15 |

1. はじめに

未来に繋がる「ほこれるまち」に向かって

瑞穂町には、古くからの日光街道、江戸街道等の街道が通り、狭山遺跡、阿豆佐味天神社、五輪様の柿の木などの多くの歴史的資源、狭山丘陵、狭山池や、残堀川などの豊かな自然環境資源、景観資源が多く分布していますが、これらの施設や資源を有機的に繋ぐルートは十分整備されていない状況でした。

町では、平成24年3月に自然環境資源・景観資源と各拠点を結びつけ、お互いに連携させることで、来訪者の回遊性を高め、観光の振興を図ることを目的として「水・緑と観光を繋ぐ回廊計画」を策定しました。

本計画の整備を進める中で、拠点や回廊ルート、案内サインなどの整備については、各部会で検討を進めてきました。

この報告書では、計画の進ちよく状況を示すとともに、当初計画の見直しによる今後の整備計画並びに現段階での経費を示します。なお、狭山池上流部などの具体的な整備計画が確定しない事業については経費を記載していません。今後の進ちよくにあわせて、随時追加、見直しをしていきます。

2. 水・緑と観光を繋ぐ回廊計画の基本的な考え

(1) 緑の保全と創出

町民が愛し親しむ財産である狭山丘陵や狭山池周辺の希少な植物、水辺環境、農地を大切に守るとともに、新たな魅力ある自然空間を創出し、将来に引き継ぐことが必要です。

(2) 農と水辺環境の再生

古来、狭山池は水をたたえる広大な池であったといわれ、狭山丘陵の谷戸から流れ出る水が残堀川を形作ってきました。また、江戸時代の新田開発、昭和時代の土地改良事業に代表されるように農地が開発されてきました。

このような歴史を持ちながら、市街化の進行によって都市基盤整備が進み利便性が向上した街並みが形成された一方で、湧水量の減少や不耕作農地が増加しています。

今後は、農地の保全や水辺環境の再生に取り組み、これを観光資源や産業活性化の原動力と位置付けることが必要です。

(3) 水と緑の拠点をつなぐネットワークの形成

水と緑は、人の心に潤いを与えると同時に、人と人とのふれあいをつくる資源です。また、水や緑と人がかかわりあって、歴史や文化を形成してきました。

町の資源である水と緑を魅力ある地域づくりに最大限生かしていくために、水と緑の拠点づくりとこの拠点と多様な歴史・文化の地域資源を相互に結ぶルート整備など、水と緑のネットワークを形成する取組を推進していく必要があります。

(4) 住民、事業者、行政がともに取り組むまちづくり

貴重な自然や歴史・文化を守り、水と緑を活用し、新たな人や物の交流を創出するためには、住民、事業者、行政が協働で取り組んでいくことが不可欠です。

また、住民参加による取組は、地域への愛着や誇りを育むことにもなり、安全で豊かな地域環境を形成するうえでも重要です。協働の視点にもとづき、住民、地域、企業などが行政との役割分担を行い、お互いが支え合う取組を推進する制度やしきみづくりを行う必要があります。

3. 計画の進捗状況

町では平成25年2月に水・緑と観光を繋ぐ回廊計画推進協議会及び各部会を発足し、当該計画に示す各種事業に取り組んできました。

合わせて広報みずほや町ホームページ、リーフレットを活用し、町内外に向けて計画のPR活動を行っています。

(1) 平成24～28年度主な取組み

平成24・25年度

- ・水・緑と観光を繋ぐ回廊計画推進協議会及び部会発足
- ・村山土佐守、蛇喰い次右衛門モニュメント完成
- ・愛称・ロゴマークが決定



平成26年度

- ・郷土資料館けやき館完成
- ・馬の水飲み、二ホンオオカミモニュメント完成
- ・町道440号線ストリートプリント完成（表橋～仲町橋）



平成27年度

- ・さやま花多来里の郷開園
- ・狭山谷の天狗モニュメント完成
- ・町道661号線ストリートプリント完成（さやま花多来里の郷付近）



平成28年度

- ・さやま花多来里の郷東側入口整備工事完成
- ・カワセミ、ホンダタヌキモニュメント完成
- ・町道440号線ストリートプリント完成（仲町橋～地藏橋）



(2)これまでの事業経費

◆当初計画に示されている各種事業費

| 事業 | 国費 | 都費 | 特定財源 | 一般財源 | 計 |
|---------------------|-------------|------------|------------|------------|-------------|
| 平成24年度 | | | | | |
| 蛇喰い次右衛門像、村山土佐守像 | | 7,500,000 | | 5,625,000 | 13,125,000 |
| 平成25年度 | | | | | |
| さやま花多来里の郷基本設計等 | 3,500,000 | | | 2,044,000 | 5,544,000 |
| 平成26年度 | | | | | |
| 町道440号線(仲町橋～表橋) | | | | 5,378,400 | 5,378,400 |
| ニホンオオカミ像 | | | 5,500,000 | 2,689,640 | 8,189,640 |
| さやま花多来里の郷用地・工事等 | 47,000,000 | 3,940,000 | 6,000,000 | 1,894,668 | 58,834,668 |
| 平成27年度 | | | | | |
| 町道661号線(さやま花多来里の郷前) | | 18,559,000 | | 3,924,440 | 22,483,440 |
| 狭山谷の天狗像 | | | 4,000,000 | 777,218 | 4,777,218 |
| さやま花多来里の郷用地・工事 | 80,000,000 | 4,500,000 | 8,000,000 | 1,828,002 | 94,328,002 |
| 平成28年度 | | | | | |
| 町道440号線(地蔵橋～仲町橋) | | 9,618,000 | | 3,257,760 | 12,875,760 |
| カワセミ像、ホンダタヌキ像 | | | 4,000,000 | 86,180 | 4,086,180 |
| さやま花多来里の郷整備工事 | | 1,830,000 | | 1,842,000 | 3,672,000 |
| 合計 | 130,500,000 | 45,947,000 | 27,500,000 | 29,347,308 | 233,294,308 |

(3) 計画の各種整備状況

① 拠点整備

- ・郷土資料館けやき館 平成26年度整備完了
- ・さやま花多来里の郷 平成28年度整備完了
- ・狭山池上流部 整備計画中

② ルート整備

「農と歴史・文化のゾーン」、「狭山丘陵と眺望のゾーン」、「史跡と水を巡るゾーン」の3つのゾーン内の4ルートについて、当初計画では新設道路の設置や、危険箇所があったため、現状に合わせた見直しを行いました。また、整備費については工事内容を創意工夫することで全体的に経費節減を図りました。



③ サイン整備

案内サインを平成29年度から3か年で設置を計画しています。

平成29年度には箱根ヶ崎駅からさやま花多来里の郷までの4箇所、箱根ヶ崎駅西口にみずほエコパークへのサインを1箇所の計5箇所に設置しました。また、都立野山北・六道山公園周辺の案内サインの設置について、東京都と連携をして進めます。



④狭山池上流部整備

当初計画にあったハード事業を見直し、狭山池上流部整備部会で定めたゾーンニングをもとに、瑞穂町農業委員会による遊休農地解消事業「小麦蒔き」等のソフト事業を積極的に進めています。
また、平成29年度には新規就農者等によるひまわり畑整備を行い、瑞穂町の新たな見所を創作しました。



4. 概算整備事業費

回廊全体整備費

①当初概算

| 種別 | 細別 | 形状・規格 | 数量 | 単位 | 金額 | 摘要 |
|--------|-----------|--------------------------|--------|----|---------------|----------|
| 回廊整備 | | | | | | |
| | 回廊整備 | 農と歴史・文化ゾーン | 8835.0 | m | 958,287,000 | |
| | 回廊整備 | 史跡と水を巡るゾーン 狭山丘陵と眺望ゾーン | 7575.0 | m | 843,593,000 | |
| | サイン整備 | | 1.0 | 式 | 41,040,000 | |
| | モニュメント設置 | 農と歴史・文化ゾーン 史跡と水を巡るゾーン | 1.0 | 式 | 50,000,000 | 計画期間中の総額 |
| 拠点整備 | | | | | | |
| | 狭山池上流整備 | | 1.0 | 式 | 911,071,000 | |
| | カタクリ群生地整備 | | 1.0 | 式 | 68,656,000 | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| 全工事費合計 | | | | | 2,872,647,000 | |

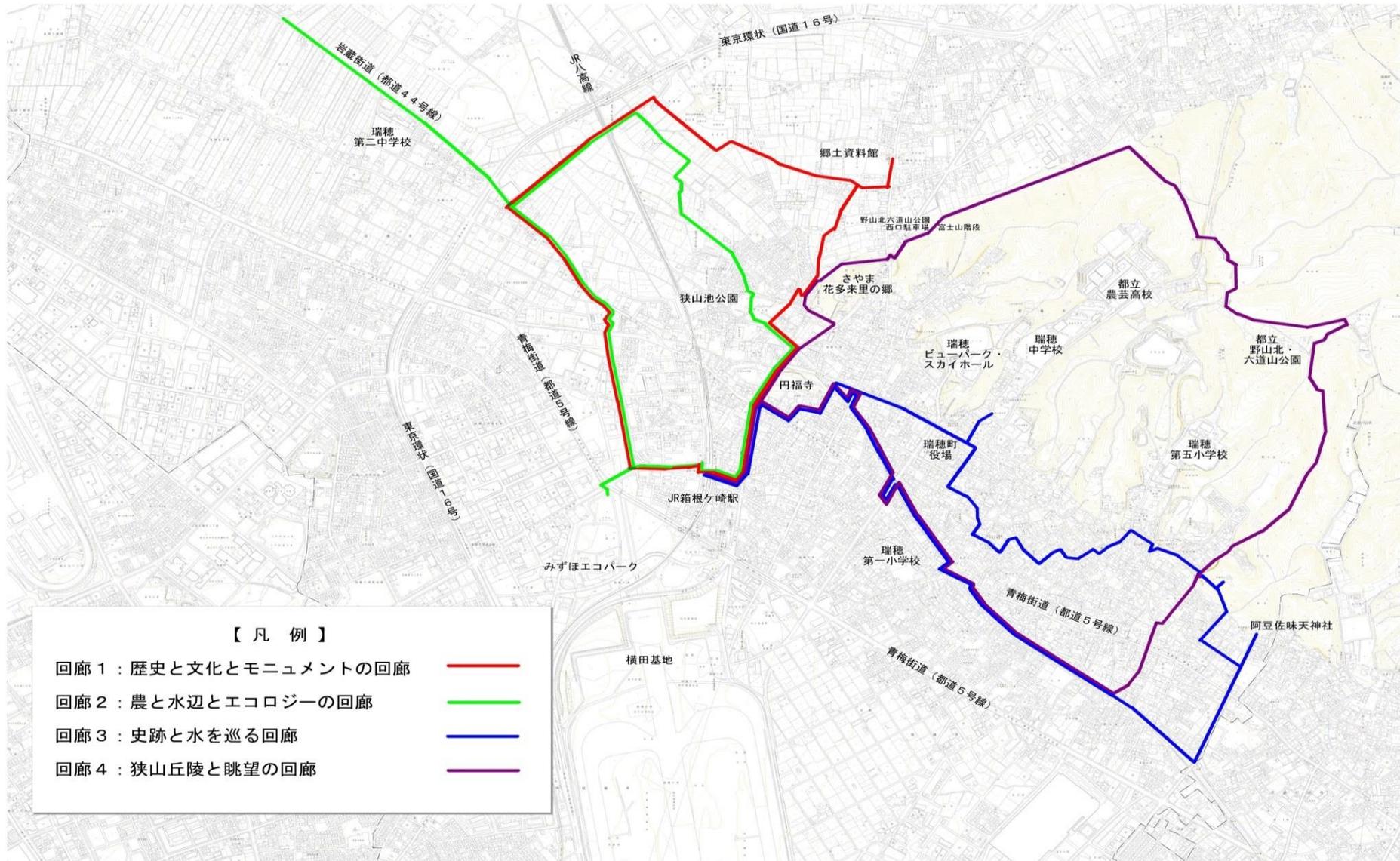
②平成30年3月概算

| 種別 | 細別 | 形状・規格 | 数量 | 単位 | (当初金額) | 見直し後金額 | 摘要 |
|--------|--------------------------|--------------------------|--------|----|-----------------|-------------|---------------------|
| 回廊整備 | | | | | | | |
| | 回廊整備 | 4ルート ストリートプリント施工幅1m | 9797.0 | m | (1,801,880,000) | 169,292,160 | 1㎡あたり17,280円 |
| | サイン整備 | | 1.0 | 式 | (41,040,000) | 24,328,000 | 平成29～31年度設置分 |
| | モニュメント設置 | (設置実績) | 1.0 | 式 | (50,000,000) | 30,178,038 | 6基設置実績金額 |
| 拠点整備 | | | | | | | |
| | 狭山池上流整備 | 基盤整備事業調査設計 基盤整備事業実施設計 | 1.0 | 式 | (911,071,000) | 3,000,000 | 基盤整備事業調査設計費 |
| | カタクリ群生地整備 (さやま花多来里の郷) | | 1.0 | 式 | (68,656,000) | 162,378,670 | 実績金額(用地費込) |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 全工事費合計 | | | | | (2,872,647,000) | 389,176,868 | (差額 2,483,470,132円) |

5. 各部会の事業展開

(1) 回廊ルート整備部会

(変更後)水・緑と観光を繋ぐ回廊計画基本4ルート



◆各ルートの延長

| | 延 長 | 総 延 長 |
|-------------------|----------|-------------------------|
| ① 歴史と文化とモニュメントの回廊 | 約 4,047m | 約 21,709m (約 21.7km) |
| ② 農と水辺とエコロジーの回廊 | 約 5,478m | |
| ③ 史跡と水を巡る回廊 | 約 5,403m | |
| ④ 狭山丘陵と眺望の回廊 | 約 6,781m | |

※各ルート重複延長あり

【1】主な変更点

- ・歴史と文化とモニュメントの回廊
当初計画ではさやま花多来里の郷の東側から郷土資料館に向かうルートでしたが、安全性を考慮し、さやま花多来里の郷の西側を進むルートに変更しました。
また、八高線の線路沿いの新設道路を通るルートについて、道路の新設はJRの複線化などの課題があり、既設の道路を通るルートに変更しました。
- ・農と水辺とエコロジーの回廊
当初計画である狭山池上流部のルートは現在はまだ存在しない道路であり、狭山池上流部整備後に再度精査することとし、現状の道路に沿ったルートに変更しました。
- ・史跡と水を巡る回廊
当初計画のルートを安全性を考慮し、直近の信号機まで迂回する等の変更をしました。また、殿ヶ谷・石畑地区の道路について精査をし、ルートを変更をしました。
- ・狭山丘陵と眺望の回廊
史跡と水を巡る回廊と同様に安全性を考慮し、直近の信号機まで迂回する等の変更をしました。また、当初計画ではお伊勢山遊歩道を通るルートであったものを、野山北・六道山公園西口駐車場から遊歩道を通り、三角点へ向かうルートに変更しました。

【2】今後の事業予定

当初計画に示されていた新設道路の建設や、都道の整備、緑道の整備等について計画を見直します。また、ルート整備は道路の舗装状況に合わせて行うこととし、当初計画にあったインターロッキングブロック舗装ではなく、施工幅1mのストリートプリントを基本に整備していきます。

サイクリングルート、町外へのルートについては、基本4ルートの整備状況に合わせ、観光部会と連携しながら今後も検討を進めていきます。

【3】整備延長と概算金額

| ルート名 | 整備延長 | 単位 | 単価(税込) | 整備金額 |
|-----------------|-------|----|---------|--------------|
| 歴史と文化とモニュメントの回廊 | 2,169 | m | 17,280円 | 37,480,320円 |
| 農と水辺とエコロジーの回廊 | 894 | m | 17,280円 | 15,448,320円 |
| 史跡と水を巡る回廊 | 4,072 | m | 17,280円 | 70,364,160円 |
| 狭山丘陵と眺望の回廊 | 2,662 | m | 17,280円 | 45,999,360円 |
| | | | | |
| 合計 | 9,797 | m | 17,280円 | 169,292,160円 |

※単価計算: 7,260円(建設物価:平成29年10月1日発行より) × 2.2(経費率) = 15,972円 ÷ 16,000円 × 税
 ※整備延長については各ルート重複路線があるため、総延長とは異なります。



ストリートプリントの例



回廊ルート路面標識

(2) 観光部会

【1】サイン整備数量・工事費

| 工 種 | 種 別 | 数量 | 単位 | 工事費(円) | 摘要 |
|----------|--------------------------|----|----|------------|----------------------------------|
| 平成29年度 | 位置・方向案内板 | 5 | 箇所 | 4,482,000 | 実績金額 (さやま花多来里の郷、 みずほエコパーク) |
| 平成30年度 | 位置・方向案内板 | 9 | 箇所 | 9,846,000 | (石畑・殿ヶ谷地区) |
| 平成31年度以降 | 総合案内板 解説板 位置・方向案内板 | 未定 | 箇所 | 10,000,000 | |
| | | | | 24,328,000 | |

案内板のイメージ



★総合案内板



★案内板



★解説板



★位置・方向案内板

【2】今後の事業予定

案内サインについては、平成29年度から整備を進めています。平成29年度には5基の方向案内板を設置しました。平成30年度には9基の方向案内板を設置する予定です。平成31年度も引き続き観光部会の意見で検討し、案内サインを設置します。

案内サインには多言語標記やピクトグラム(絵表示)を採用し、誰でも分かりやすく安心して観光できる環境を目指します。

また、都立野山北・六道山公園周辺の案内サインについて、引き続き設置に向けて東京都に要望をします。

今後、回廊ルート整備部会と観光部会が連携して、回廊マップの作成や、新たなイベントの創出等ソフト施策の充実に向けた検討をします。

◆平成29年度案内サイン設置箇所



- ①箱根ヶ崎駅東口
- ②箱根ヶ崎交差点
- ③残堀川狭山トンネル上
- ④狭山神社前
- ⑤箱根ヶ崎駅西口



(3) 狭山池上流部整備部会

【1】整備計画の見直し

狭山池上流部整備の、「農と水辺の風景づくり」「自然の営みを感じる空間づくり」という基本的な考え方は変わりませんが、当初計画に示されていたクラブハウスや飲食店の整備などのハード事業について、計画を見直します。

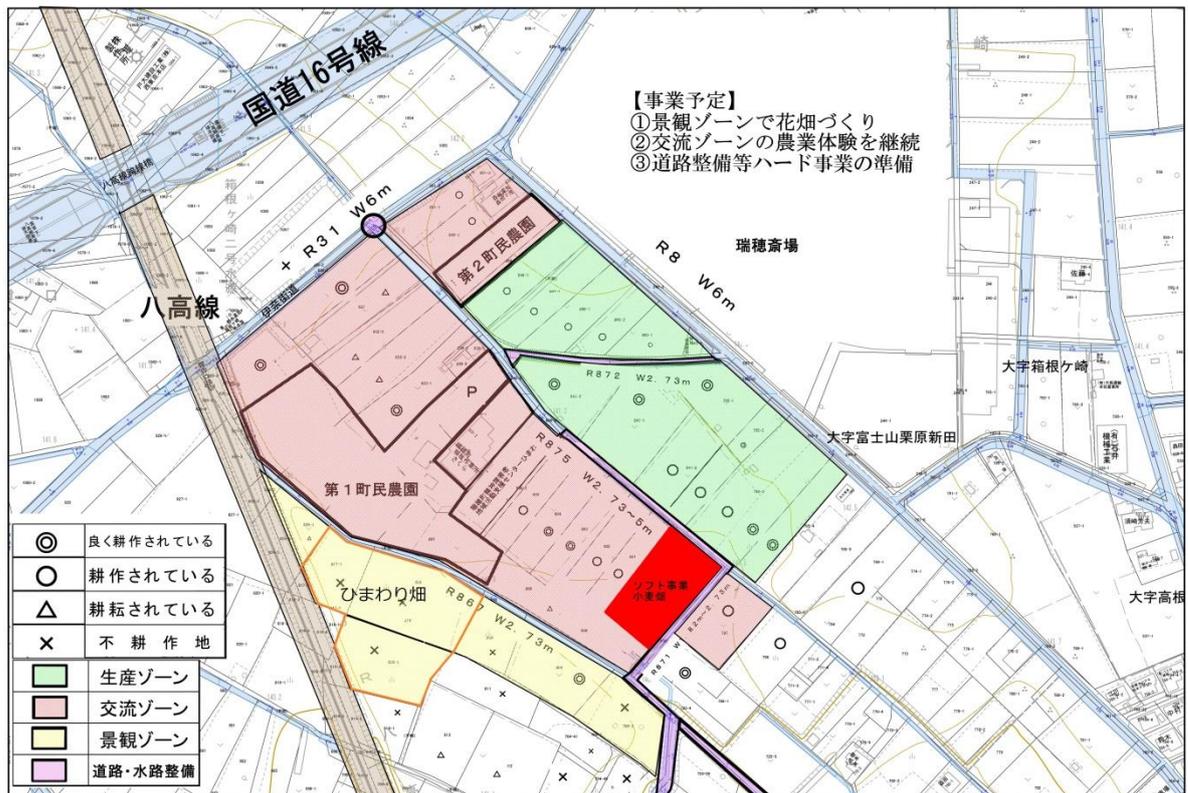
今後、東京都とも連携しながら基盤整備を進めていきます。

【2】今後の事業予定

ゾーニング図で示したとおり、狭山池上流部を「生産ゾーン」「交流ゾーン」「景観ゾーン」にゾーン分けし、①景観ゾーンでの花畑づくり、②交流ゾーンでの農業体験、③道路整備等ハード事業の準備を中心に事業を進めていきます。

景観ゾーンのひまわり畑、交流ゾーンの農業委員会を中心とした小麦蒔き等、不耕作地の解消につながるソフト事業を継続しながら、平成30年度には基盤整備事業調査設計を行い、今後の狭山池上流部のハード事業の準備を進めます。今後の整備に必要な経費については、平成31年度以降に調査結果に基づき示します。

狭山池上流部整備区域・ゾーニング

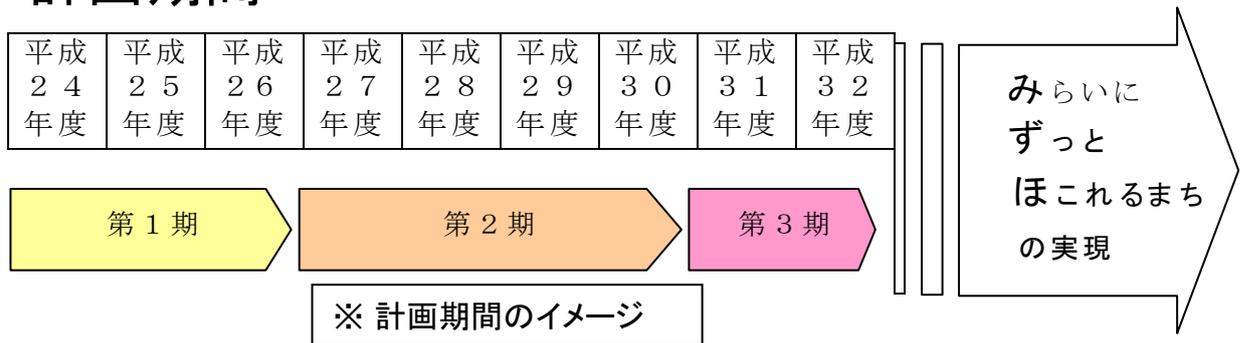


6. モニュメント設置

モニュメントについては今まで6基を設置しました(馬の水飲みについては箱根ヶ崎駅東口整備に伴い設置)。

今後のモニュメント設置については、回廊ルート整備などの進捗にあわせ、地域の方の意見や要望を聴きながら設置を検討することとします。

7. 計画期間



水・緑と観光を繋ぐ回廊計画の目標年次は、第4次瑞穂町長期総合計画の目標年次と合わせ、平成32(2020)年度としています。しかしながら、当初計画に示した新設道路の建設や狭山池上流部の整備等については、今後計画を見直していくことから目標年次までに達成することは難しい状況にあります。また、回廊ルート整備についても舗装状況に合わせて行うため、目標年次までに回廊ルートすべての道路舗装、改修工事が終わるものではありません。

この目標年次は、長期総合計画の改定に合わせて、必要な見直しを行う目途を示すものであり、さらに長期的な視点に立って、住民や事業者、地域団体などと行政が協働し、事業を進めていきます。